

放課後等デイサービス高須あづみ 事業所向け評価表

職員数が少ないため、平成29年9月末に職員間で話し合い合議の上で評価を行った。

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか。 | | ○ | | ・活動内容等を工夫している。 ・ソーシャル・スキルの獲得に重点を置いた活動をしているため、スペースとしては確保されている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか。 | | ○ | | ・活動形態を工夫しているが、SSTを行うと考えた場合、人員が足りないこともある。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。 | | | ○ | ・段差はあるが、スロープ等はない。該当する利用者がいないが、必要があれば現状では職員の補助が要る。 ・一般的な配慮はなされている。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。 | ○ | | | ・朝礼で昨日の振り返りを行い、改善点を出し合っている。 ・月間の目標を定め、週案で課題の発見と次への改善につなげている。 |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者当の意向等を把握し、業務改善につなげているか。 | ○ | | | ・保護者向けの評価で出てきた課題については段階的に取り組んでいる。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。 | | ○ | | ・利用者に対しては手紙で配布予定。ホームページは現在改修中のため公開できていないが、公開予定。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。 | ○ | | | ・法人内で開催されるフォーラム、研修に参加している。 ・事業所の特徴に特化した研修を事業所内でも実施している。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | | ・日々の朝礼児に前回の活動時の児童の様子を報告し合い、対応を検討している。支援の内容等もその都度保護者に伝えている。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。 | | ○ | | ・知能検査等を事業所内で実施できるようにしていきたい。 ・類似した（WISCと関連のある）アプリケーションを使用しているが、全員には実施できてない。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | ・月目標を話し合っており、活動内容についてもお互いに意見を出し合っている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | | ○ | | ・職員が週ごとにローテーションで活動を組むため、それぞれの特色が出た活動になっている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を細やかに設定して支援しているか。 | ○ | | | ・長期休暇では外出活動を取り入れるなど、変化をつけている。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | | ・利用者の特性に合わせて、参加するグループの人数を調整するなど工夫している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。 | ○ | | | ・支援会議や朝礼等を使って利用者の情報共有を行っている。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。 | ○ | | | ・毎回活動後に振り返りを行っているため、翌日の活動に反映させることができている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | ・記録を取り、1か月の様子としてまとめ、保護者に報告を行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|------|------|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。 | ○ | | | ・モニタリングを行うとともに、保護者からの要望、相談によって内容を変更することもある。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | ○ | | | ・活動の担当リーダーが週替わりなため、偏ることなく様々な内容を組み合わせて提供できている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。 | ○ | | | ・児発管単独か、ケース担当と児発管の2名で参加している。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | | ・送迎時に簡単な情報共有を行ったり、トラブル発生時には連絡をしたり、もらったりしている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | ・医療的ケアが必要な利用者が現状ではないが、利用があった際は個別で連絡体制の書類を作成する。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | | ・利用開始前に様子を見に行ったり、利用開始後も連携を取るなどしている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | ・小学校低学年を対象としているため、該当する利用者がいない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。 | ○ | | | ・同法人の児童発達支援センター内の研修に参加したり、様子を見に来てもらうなどしている。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。 | | ○ | | ・すでに放課後児童クラブを利用している児童も多く、事業所内では改めてそのような機会は設けていない。地域の公園、施設等は積極的に利用している。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | ・代表者が出席し、情報を共有している。 |
| | 28 | 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | | ○ | | ・送迎時に活動の様子を伝えたり、学校や家庭、放課後児童クラブでの様子を聞いている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。 | | ○ | | ・事業所の中での活動の様子を見てもらう機会を年内に設ける予定。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | ・契約時に説明するとともに、運営規程は建物入口にも自由に閲覧できるようにしている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | ・メール、電話、直接来ていただくなどして、可能な限りの対応を行っている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。 | | ○ | | ・現状では親の会などが主催する講演会等の情報提供を行っている。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | ・苦情受付窓口の設置、伝えやすい雰囲気づくり等に取り組んでいる。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | | ○ | | ・各利用者のか月ごとの様子をまとめ、保護者に対して配布している。 ・長期休みは活動予定をあらかじめ配布している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか。 | ○ | | | ・鍵付きロッカーでファイルは保存する、事業所内でも定位置から動かす場合は管理者の許可を取るなどしている。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | ・感情表現や痛みの表現等を指さしてもできるようなボードを準備するなどしている。 |

| | | | | | | |
|--------|----|--|---|---|--|---|
| | ③7 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | ・現状では特にそのようなイベント等はない。保護者や利用者からのニーズがあれば検討する。 |
| 非常時の対応 | ③8 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。 | | ○ | | ・より実践的なマニュアルを策定するとともに、保護者にも周知していく。 |
| | ③9 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | | ○ | | ・長期休みを利用して訓練を実施する予定。 |
| | ④0 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。 | ○ | | | ・虐待相談の窓口となる職員が研修を受けたり、その内容を職員間で共有するなどしている。 |
| | ④1 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | | ○ | | ・現状では身体拘束が必要な利用者はいない。 ・身体拘束が必要な場合の判断や対応等を今後マニュアル化する。 |
| | ④2 | 職いつアレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | ・指示書を提出してもらうとともに、必要に応じて保護者に事前に内容（食材等）を知らせて確認してもらっている。 |
| | ④3 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。 | ○ | | | ・ヒヤリハットを作成し、ファイリングするとともに職員がすぐに関覧できるようにしている。 |